

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 7 年 10 月 9 日

独立行政法人水資源機構

筑後川上流総合管理所長 前田 剛宏

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、筑後川上流総合管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 7・8 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いませんが、別表を参考とし、項目毎に必要な技術者の人数等が分かるように記載願います。
- (2) 提出期間：令和 7 年 10 月 22 日(水) から令和 7 年 10 月 30 日(木) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時まで
- (3) 見積件名
「小石原川ダム堤体観測・堤体挙動分析業務」
- (4) 提出先
独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所長 前田 剛宏 宛
【担当】経理課 梶島、福田
〒838-0012 福岡県朝倉市江川 1660-67
TEL 0946-25-0113 FAX 0946-25-0133
E メール nyukei_chikugojouryu@water.go.jp
- (5) 提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 業務作業項目、作業内容

業務の内容の詳細については、見積依頼書、参考様式（数量表）、参考見積書、別紙1から別紙4を参照してください。

(2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（1）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者等を徴取します。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和7年10月15日(水)から令和7年10月17日(金)午後12時まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (2) 提出場所：3. (4)に同じ。
- (3) 提出方法：3. (5)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和7年10月22日(水)から令和7年10月30日(木)まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

見積仕様書

1. 業務目的

本業務は、小石原川ダムの堤体変位及び浸透量等の観測記録を収集して挙動に関する評価を行い、堤体の安全性の確認を行うものです。

2. 計画準備

本業務の実施にあたり、業務の目的、内容等について十分考慮して、業務に必要なデータ、資料を整理・確認のうえ、業務計画書を作成します。

3. 準拠基準等

本業務については、特に指定ありません。

4. 資料整理

小石原川ダムにおける堤体挙動評価に関する資料整理を行い、対象期間における堤体挙動評価に必要な基礎資料のとりまとめを行います。

対象期間は、令和8年1月から令和8年12月までとします。必要となるデータについては、機構から貸与します。

5. 堤体挙動評価

別紙ー2に示す堤体観測設備で計測している堤体挙動観測について、令和8年1月から令和8年12月までのデータは、CSVデータとしてあるため、これを使用して、グラフ等を作成し、堤体等の挙動の把握を行い、堤体の安定性を検討します。

対象とする堤体観測記録は以下の項目とします。

①浸透量、②浸透圧、③外部変位（従来測量（光波測量・水準測量）による観測結果及び、④GNSSセンサーによる観測結果）、⑤内部変位、⑥ひずみ、⑦間隙水圧、⑧土圧、⑨岩盤変位

（1）観測データの信頼性の判定

観測データに基づく堤体挙動を把握するため、観測データの信頼性について整理・判定を行います。観測データの信頼性は、1．観測データの経時変化、2．観測計器の電氣的点検結果、3．観測データの一般的な堤体挙動との対比等から、総合的に判定するものとします。

（2）堤体等挙動の把握と挙動の安定性に関する検討

観測項目毎に、観測データを整理するとともに、堤体・基礎の安定性について、総合的に検討・評価を行います。

6. 報告書作成

本業務で実施した検討等について取りまとめた業務報告書を作成します。

7. 貸与資料

- (1) 小石原川ダム堤体挙動分析報告書（令和7年度）
- (2) 小石原川ダム浸透流に関する調査検討会（第1回から第3回：令和2年度～3年度）
- (3) 小石原川ダム管理年報（令和7年）
- (4) 小石原川ダム定期検査資料整理検討業務報告書（令和5年度）
- (5) 小石原川ダム堤体観測・堤体挙動分析業務報告書（令和7年度）

※予定のものも含みます。

独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所長 前田 剛宏 殿

参 考 見 積 書

会 社 名
住 電 話 番 所
電 話 番 号
FAX 番 号
担 当 者 名
印

1.見積内容

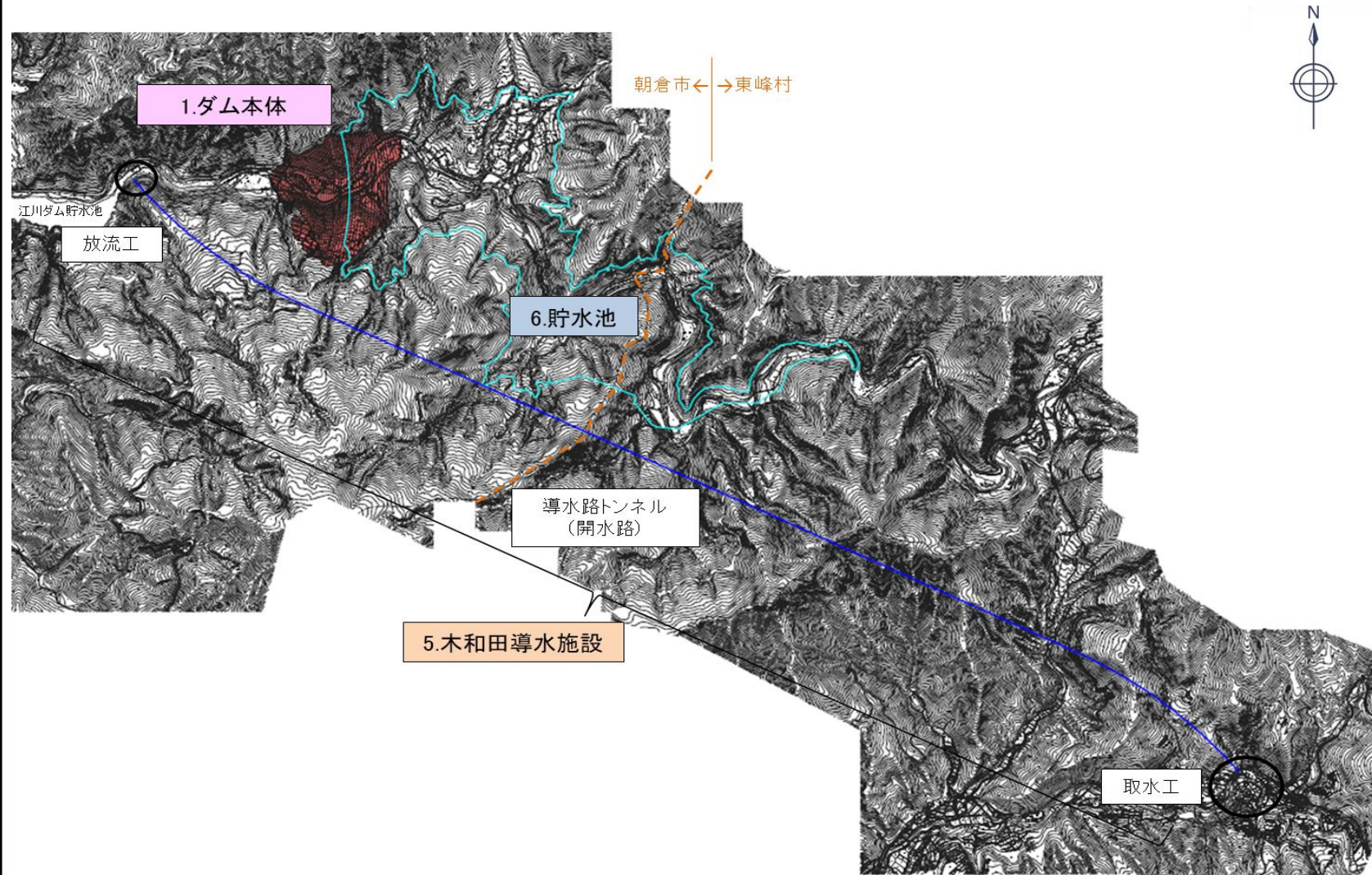
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
測量業務（堤体観測）		式	1					
基準点測量		式	1					
外部標的観測		式	1					
外部標的計測（作業計画）		点	1					
外部標的計測（観測）		点	1					
外部標的計測（計算整理）		点	1					
水準測量		式	1					
4級水準測量			1					
4級水準測量観測（計測準備）			1					
4級水準測量観測（観測）			1					
4級水準測量観測（計算整理）			1					
水文観測			1					
水文観測所保守点検			1					
水文観測所保守点検			1					
計画準備			1					
浸透量浸透圧計測及び堤体巡視			1					
貯水池周辺巡視			1					
共通			1					
共通			1					
打合せ		式	1					
打合せ		式	1					
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					
旅費交通費		式	1					
旅費交通費（率計上）		式	1					
電子成果品作成費		式	1					
電子成果品作成費		式	1					
直接測量費		式	1					
間接測量費		式	1					
諸経費		式	1					
測量業務価格		式	1					
設計業務（堤体挙動分析）		式	1					
挙動整理		式	1					
計画準備		式	1					
計画準備		式	1					
資料整理		式	1					
資料整理		式	1					
挙動評価		式	1					

堤体挙動評価		式	1					
観測データの信頼性の判定		式	1					
堤体等挙動の把握と挙動の安定性に関する検討		式	1					
報告書作成		式	1					
共通		式	1					
共通		式	1					
打合せ		式	1					
打合せ		式	1					
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					
旅費交通費		式	1					
旅費交通費（率計上）		式	1					
電子成果品作成費		式	1					
電子成果品作成費		式	1					
直接原価（その他原価除く）		式	1					
その他原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
業務価格		式	1					
業務価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
請負業務費		式	1					

- 2.見積条件
- 1）消費税：単価は税抜き額を記入

2）見積有効期間：令和8年3月31日まで

全体位置図

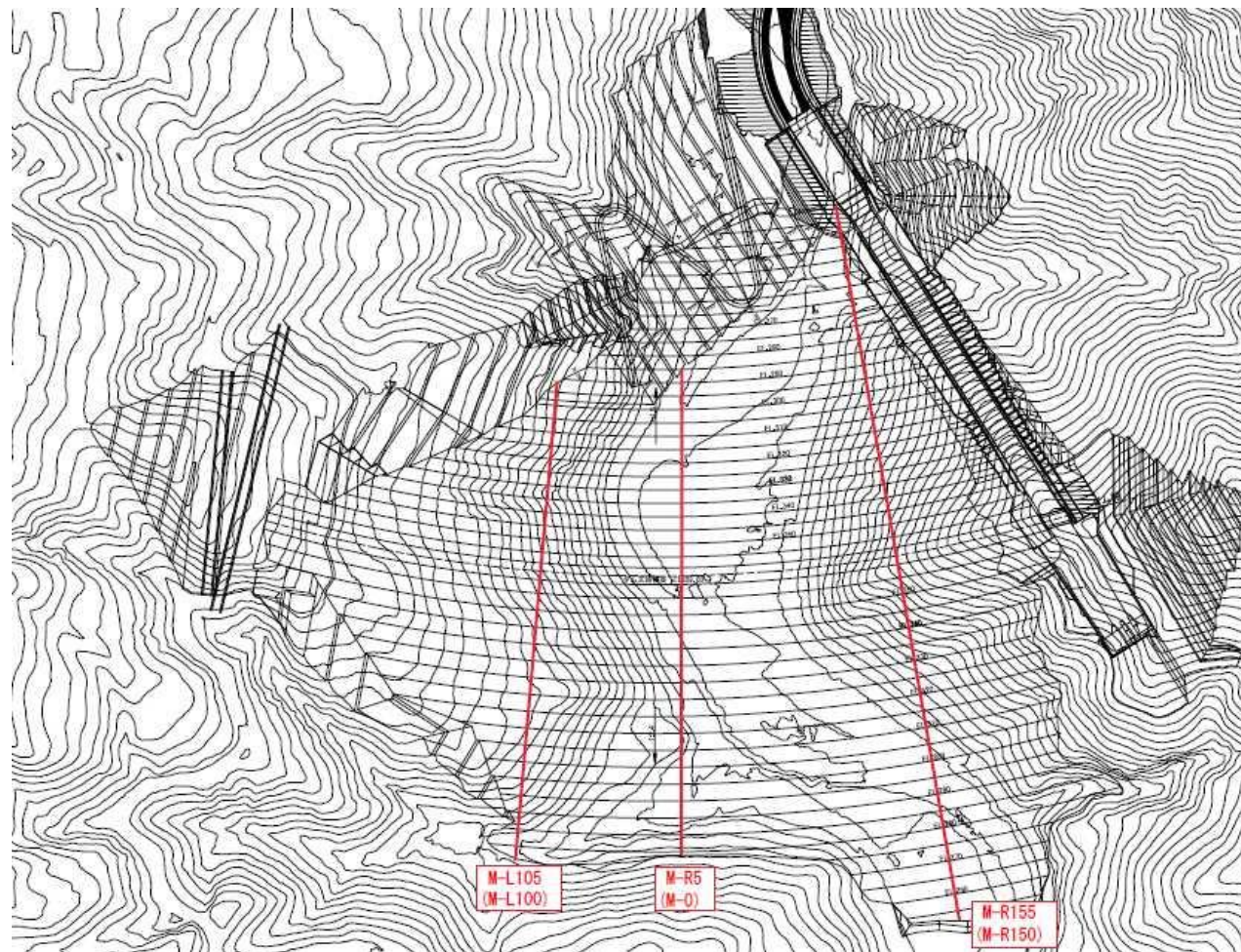


別紙－ 2 堤体観測計器一覧表

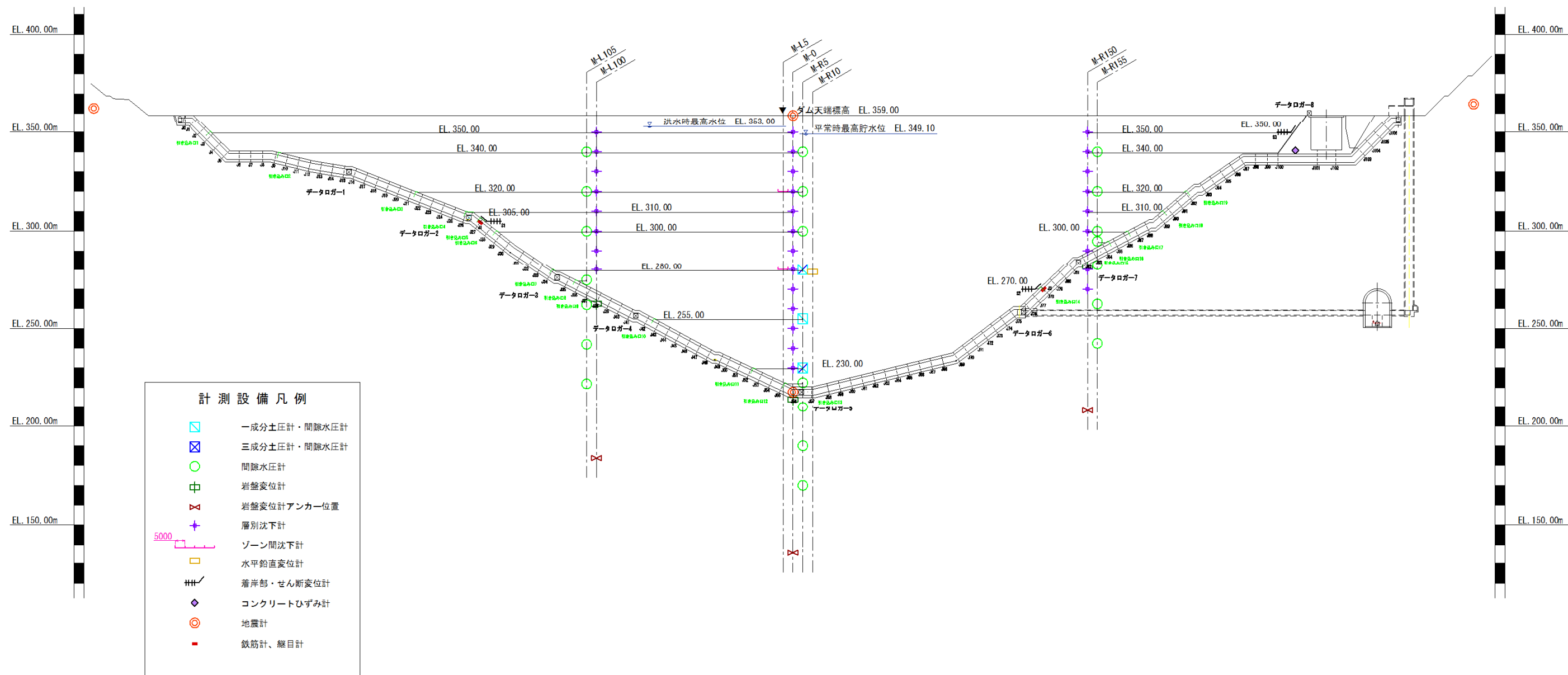
計測項目及び計測頻度、巡視頻度

計測項目	計測機器	理 設 計	計測方法	設置位置	設置数	測定頻度		備考
						第Ⅰ期	第Ⅱ期	
浸透量	三角堰		自動計測	通廊内 5ヶ所	5 ヶ所	1回／日	1回／週	
	四角堰		自動計測	下流浸透室 1ヶ所	1 ヶ所	1回／日	1回／週	
浸透量、浸透圧	ブルドン管		手動計測	通廊内 15ヶ所	15 ヶ所	1回／日	1回／週	
間隙水圧(堤体)	間隙水圧計	○	自動計測	コア部：34ヶ所、フィルタ部：14ヶ所、ロック部：4ヶ所	53 ヶ所	1回／日	1回／週	
間隙水圧(岩盤内)	間隙水圧計	○	自動計測	基礎岩盤部	33 ヶ所	1回／日	1回／週	
土圧	土圧計	○	自動計測	1成分(コア 3、フィルタ 6、ロック 1) 3成分(コア 6、ロック 3)	19 (16ヶ所)	1回／日	1回／週	1成分のコア3ヶ所は令和3年3月計器故障
変形量	外部標的		実測 ※GPSによる自動計測を併用する	天 端：9ヶ所(GPS併用) 上流面：9ヶ所(GPS併用) 19ヶ所(単独：SWL以下) 下流面：29ヶ所(GPS併用)	66 ヶ所	1回／週	1回／月	GPSは、天端9ヶ所、下流面3ヶ所、上流面1ヶ所で計測。
	層別沈下計	○	自動計測	M-0測線、M-R150、M-L100	3 測線	1回／日	1回／週	
	ゾーン間沈下計	○	自動計測	上流側1測線、下流川2測線	3 ヶ所	1回／日	1回／週	
	着岩部変位計	○	自動計測	左岸(EL305m)、右岸(EL270m、EL350m)	3 ヶ所	1回／日	1回／週	
	岩盤変位計(堤体基礎)	○	自動計測	M-0測線、上流ロック敷、下流ロック敷	5 ヶ所	1回／日	1回／週	
	ひずみ計	○	自動計測	洪水吐	1 ヶ所	1回／日	1回／週	
	鉄筋計・継目計	○	自動計測	左右岩アバット部最急勾配1ヶ所づつ	2 ヶ所	1回／日	1回／週	
地下水位	地下水位計		自動計測	左岸下流2ヶ所、右岸下流2ヶ所、左岸下流地すべり2ヶ所	6 ヶ所	1回／日	1回／週	
浸透流水温	水温計		自動計測	通廊内 5ヶ所、下流浸透室 1ヶ所	6 ヶ所	1回／日	1回／週	
			手動計測	通廊内 15ヶ所	15 ヶ所	1回／日	1回／週	
浸透流濁度	濁度計		自動計測	通廊内 5ヶ所、下流浸透室 1ヶ所	6 ヶ所	1回／日	1回／週	
			手動計測	通廊内 15ヶ所	15 ヶ所	1回／日	1回／週	
地下水温	水温計		手動計測	左岸下流 2ヶ所、右岸下流 2ヶ所、左岸下流地すべり 2ヶ所	6 ヶ所	1回／2週間	なし	
最大加速度	地震計		自動計測	主測線の基礎、天端、右岸リムトンネル、取水塔	4ヶ所	随時	随時	
		○		中間(コ子、上流ロック、下流ロック)	3ヶ所 (2ヶ所)	随時	随時	中間のコアについては、令和3年7月計器故障を確認
貯水位	水位計		自動計測	取水塔基礎	1 ヶ所	常時	常時	
巡視			巡視			1回／日	1回／週	

※盛立開始：2017（平成29年）8月
※盛立完了：2019（令和元年）9月24日
※試験湛水開始：2019（令和元年）12月14日
※洪水時最高水位到達日：2021（令和3年）5月20日
※試験湛水終了・第2期移行：2021（令和3年）8月6日
※「河川管理施設等構造令」及び「ダム構造物管理基準」で、「漏水量」と定義されているが、ここでは「浸透量」に読替える。
※自動計測については、1回/hrのデータを蓄積している。

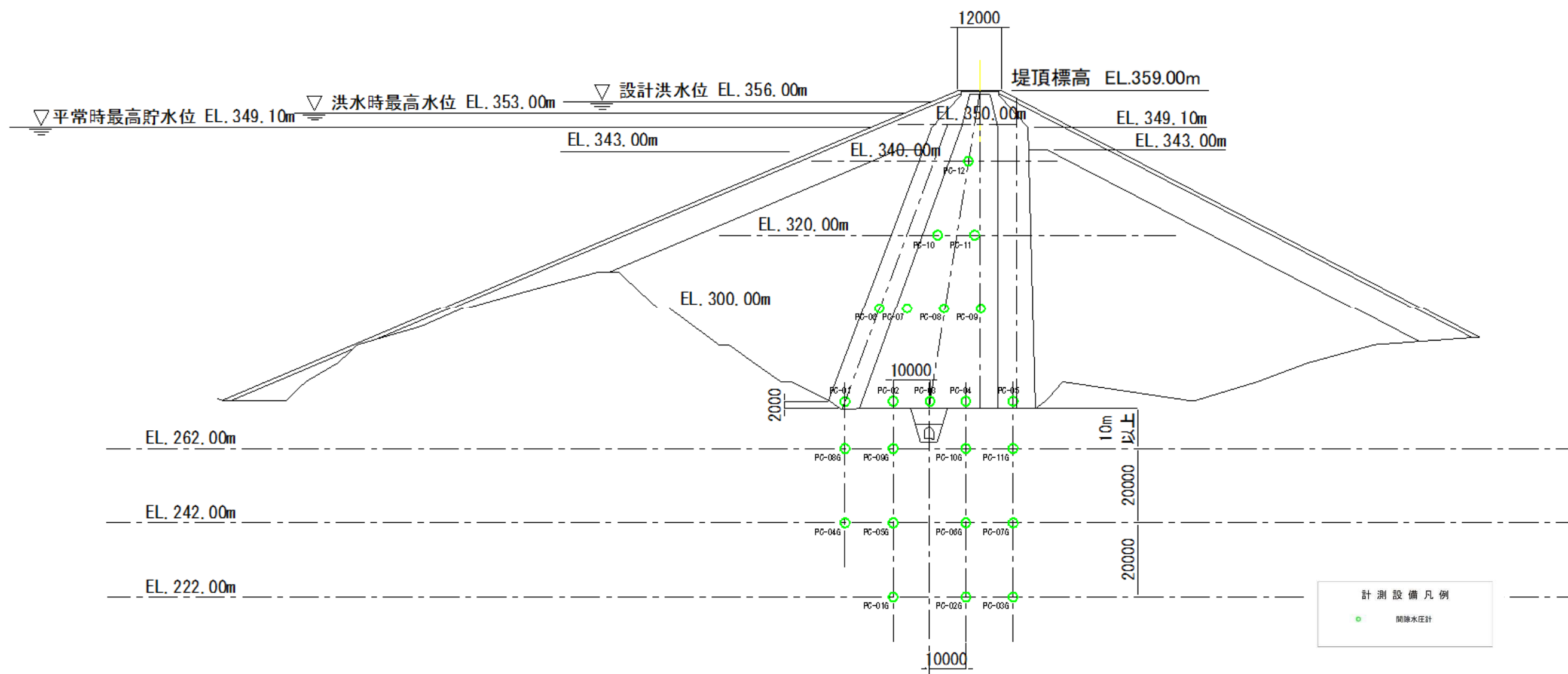


計測測線平面図



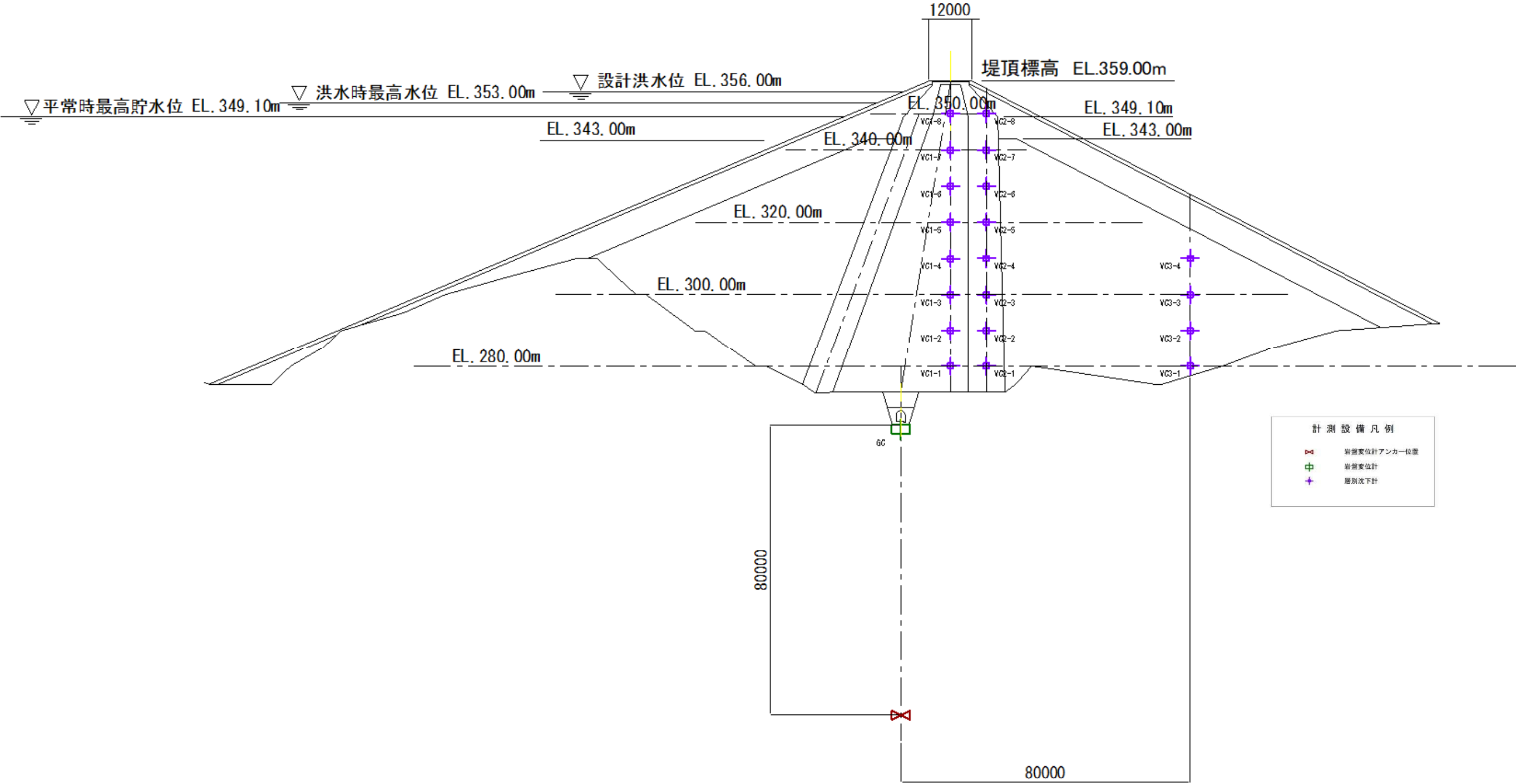
計測設備配置図（ダム軸断面）

M-L105 測線



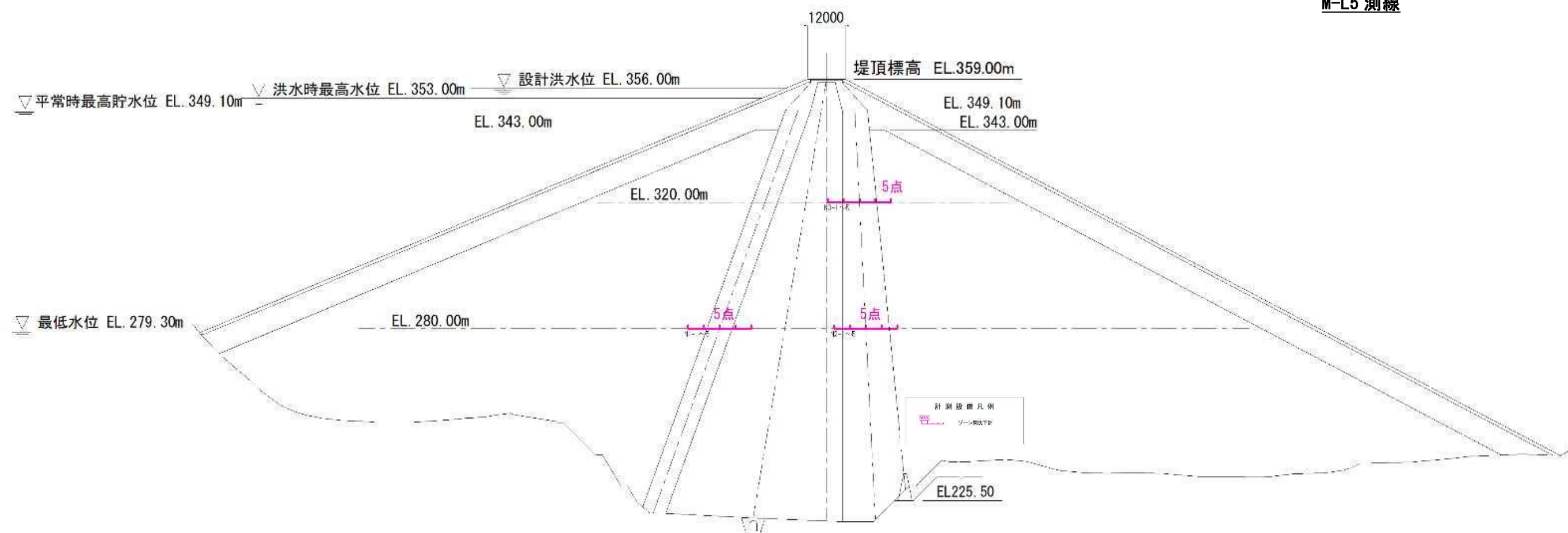
計測設備配置図 (M-L105 測線)

M-L100 測線

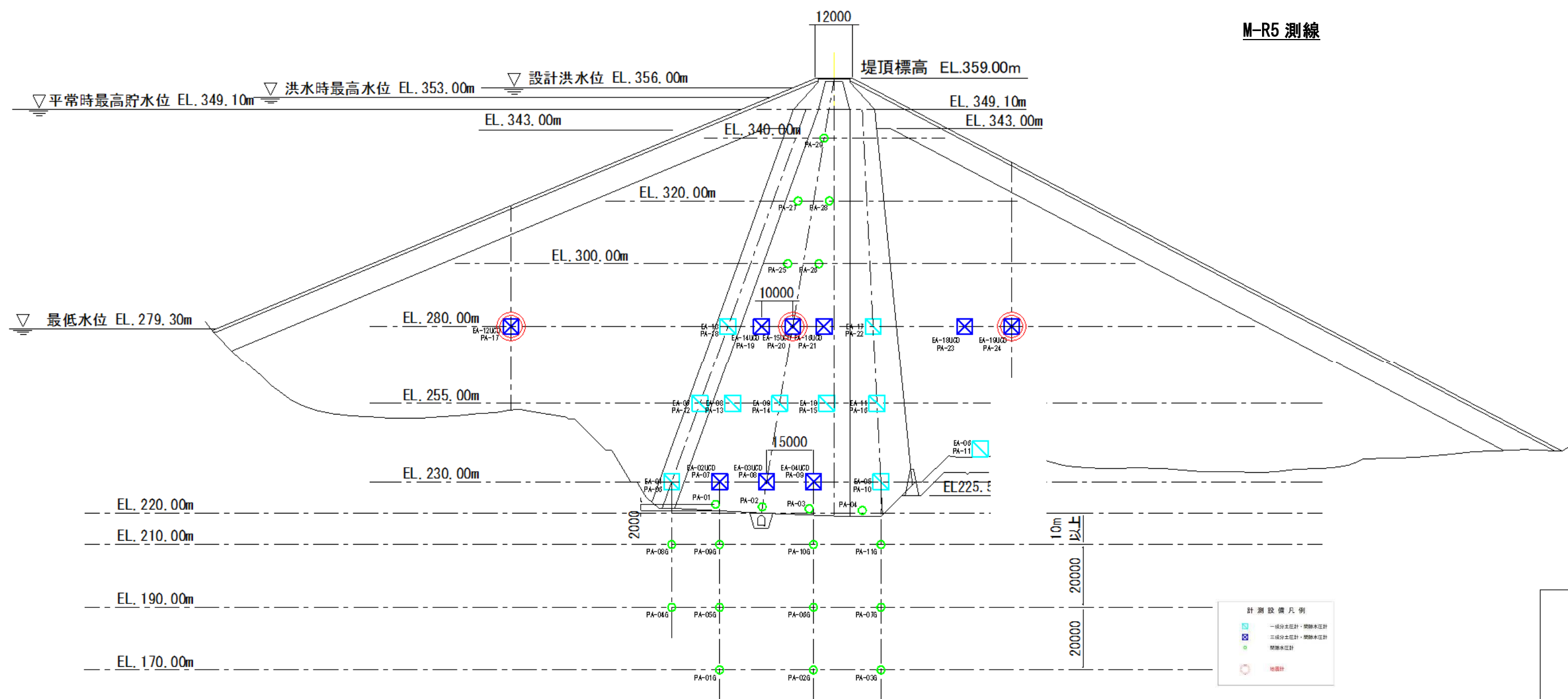


計測設備配置図 (M-L100 測線)

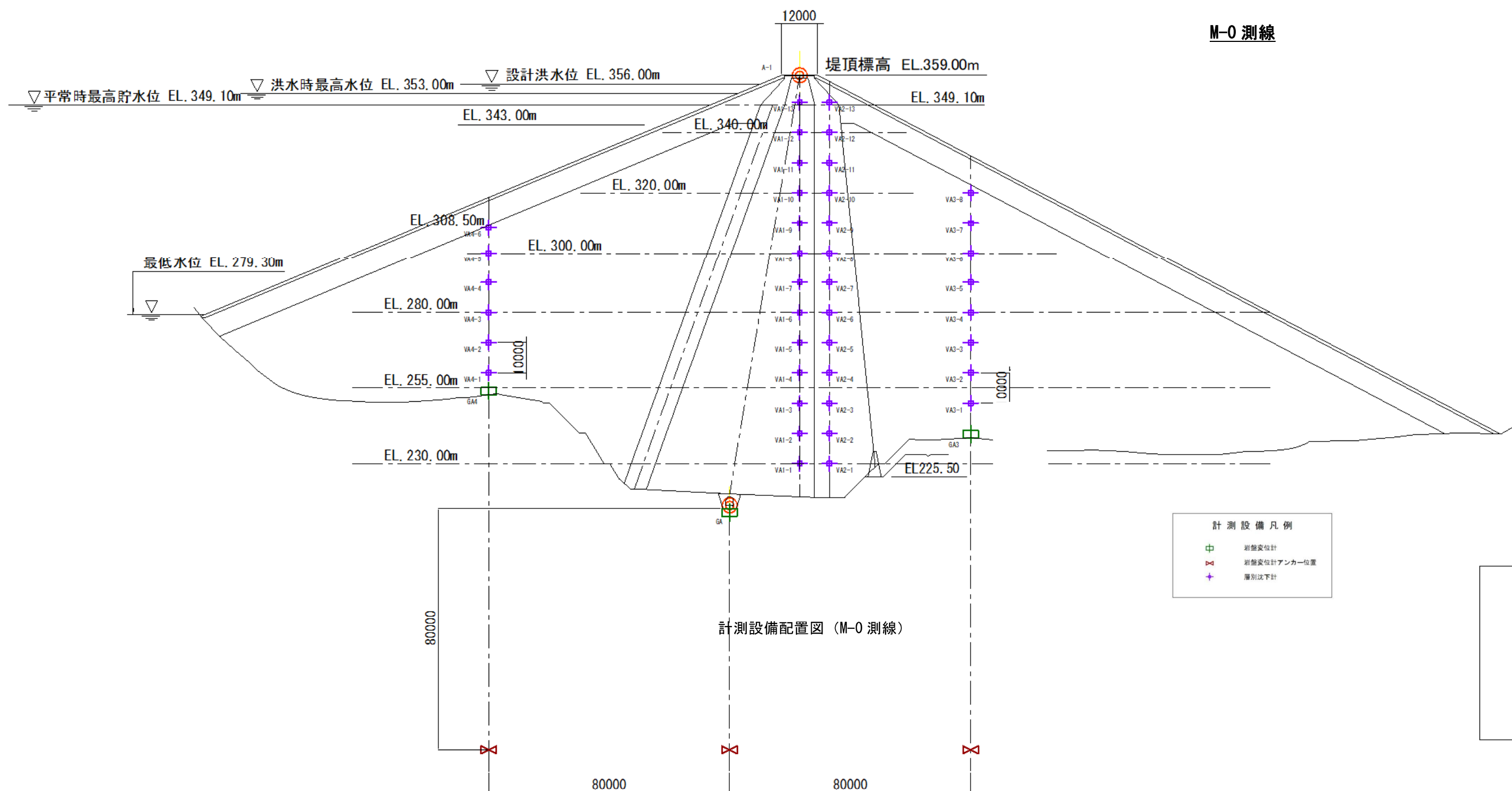
M-L5 測線



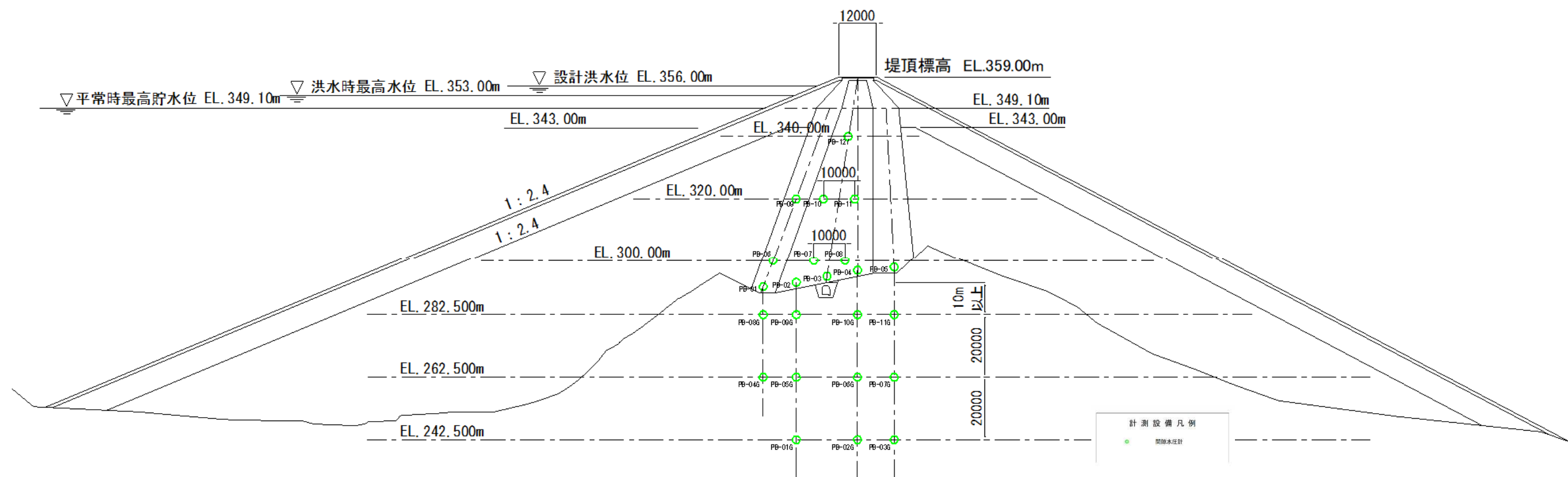
計測設備配置図 (M-L5 測線)



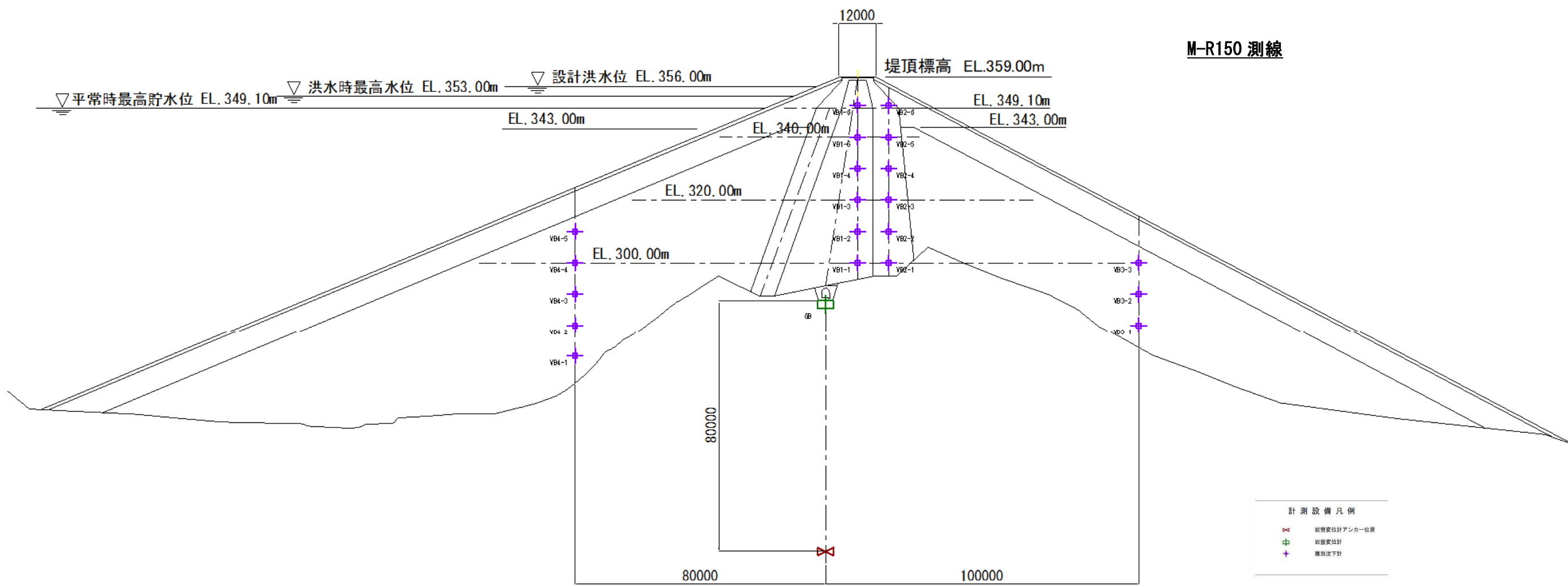
計測設備配置図 (M-R5 測線)



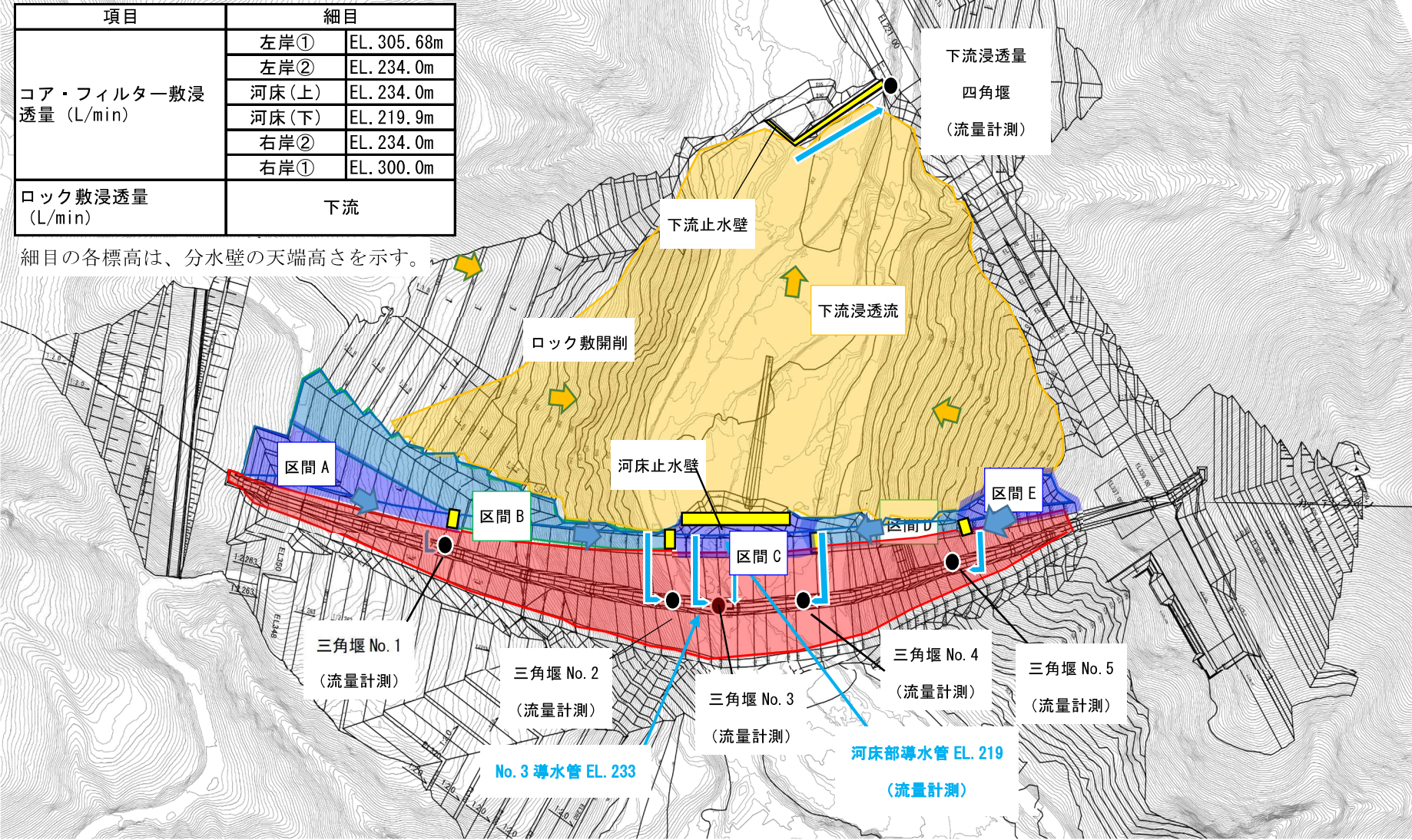
M-R155 測線



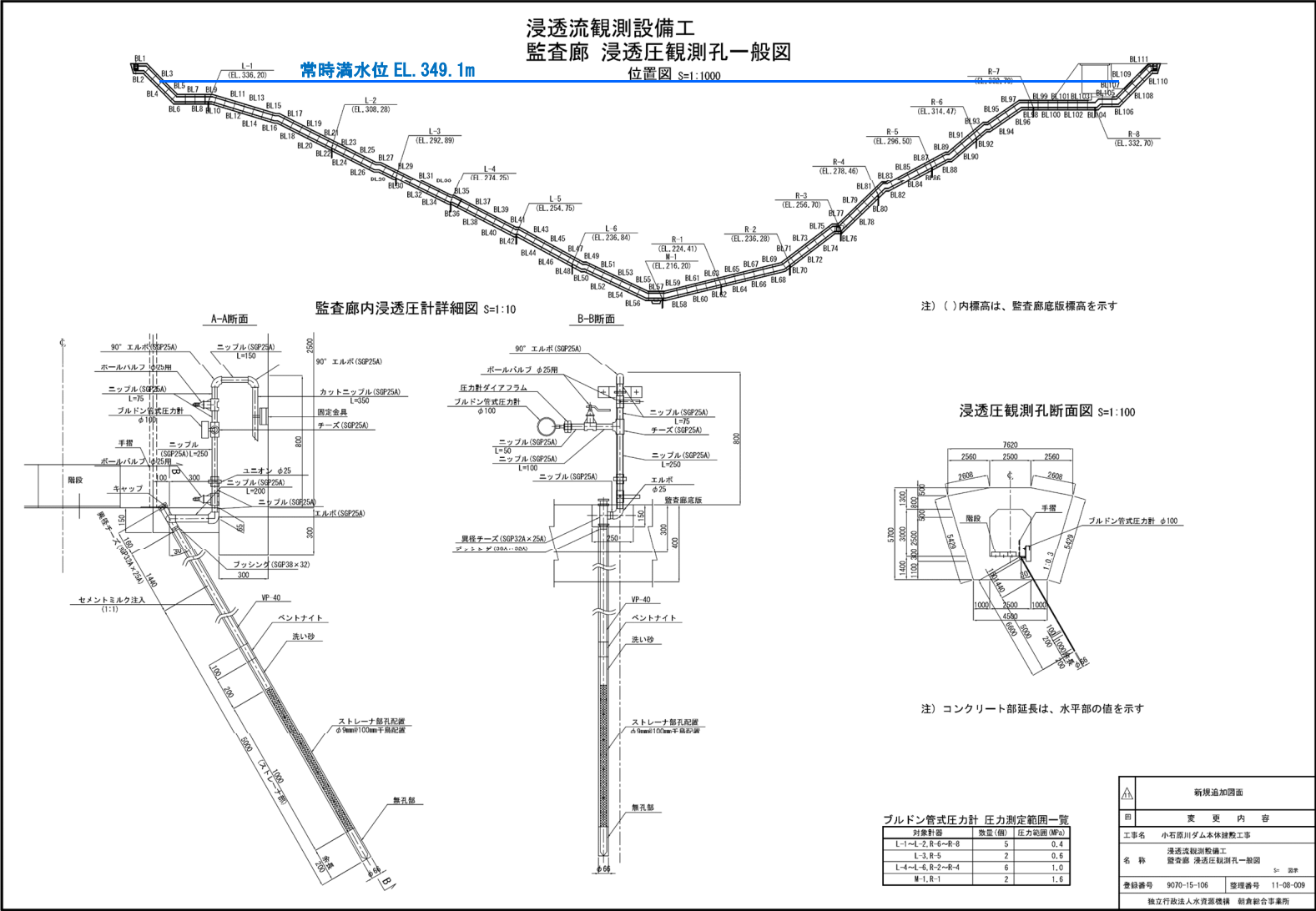
計測設備配置図 (M-R155 測線)

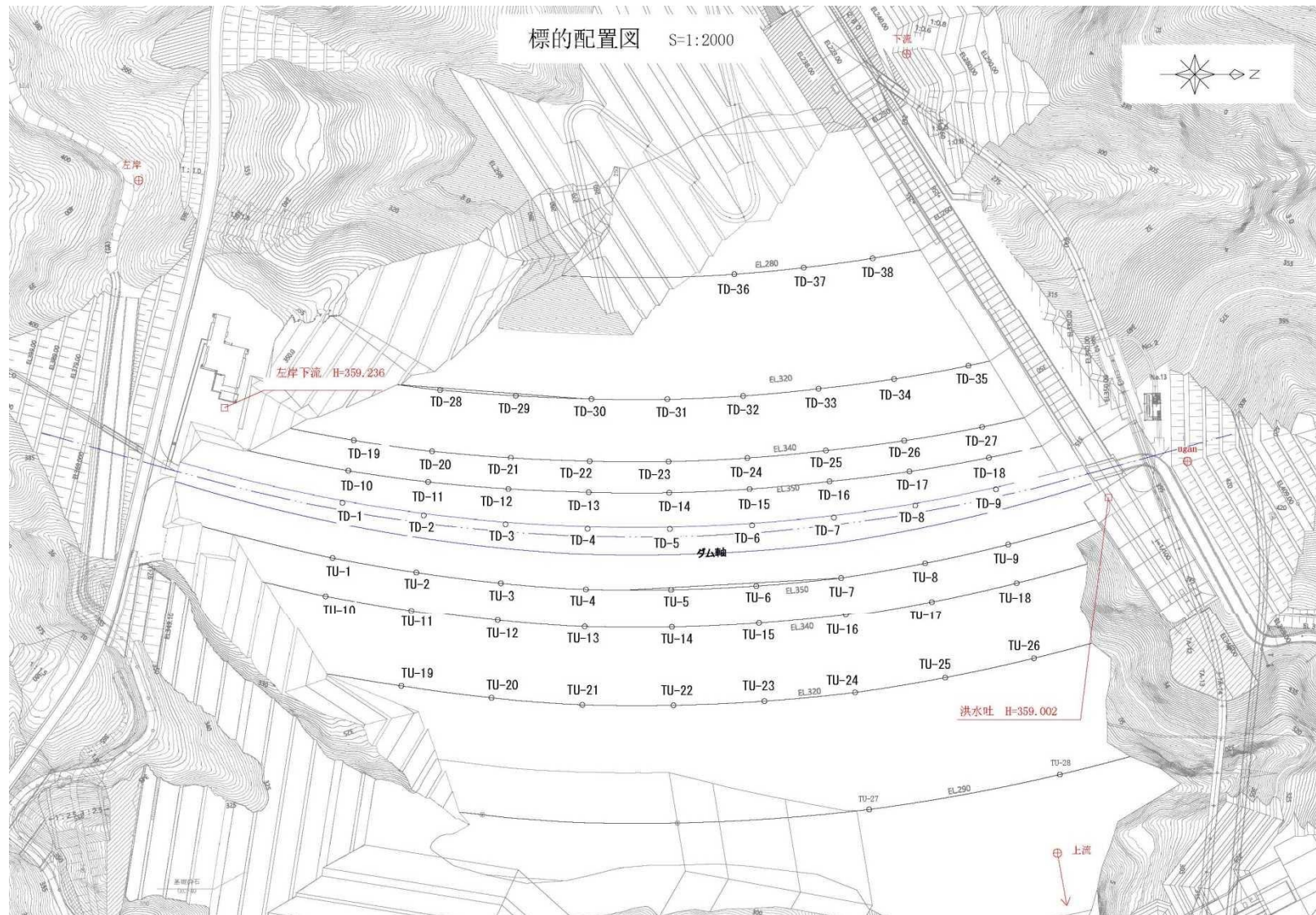


計測設備配置図 (M-R150 測線)

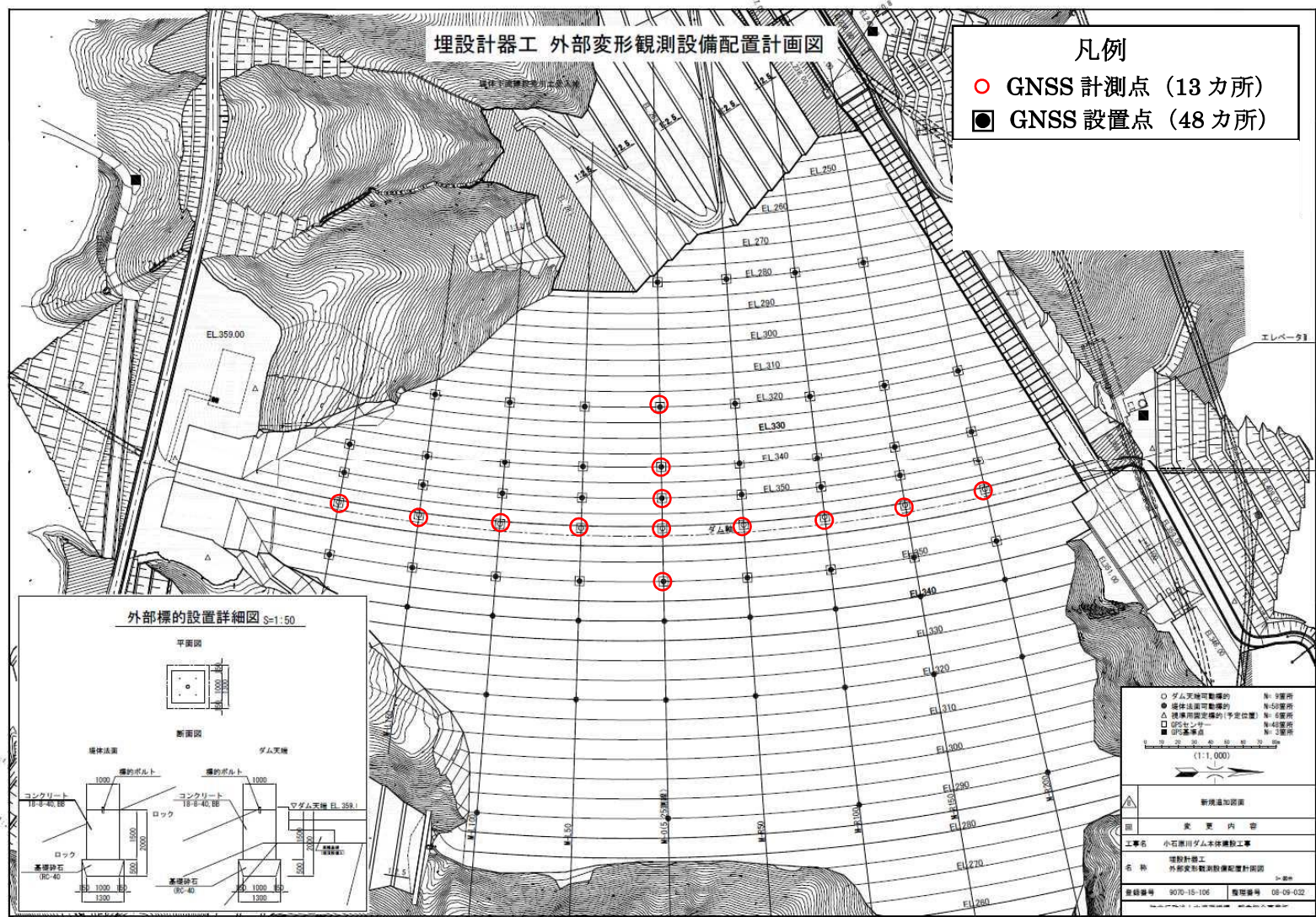


浸透流観測設備配置図





外部標の配置図



GNSS 計測配置図

別紙－4 參考資料「概略工程」

概略工程

[illegible]